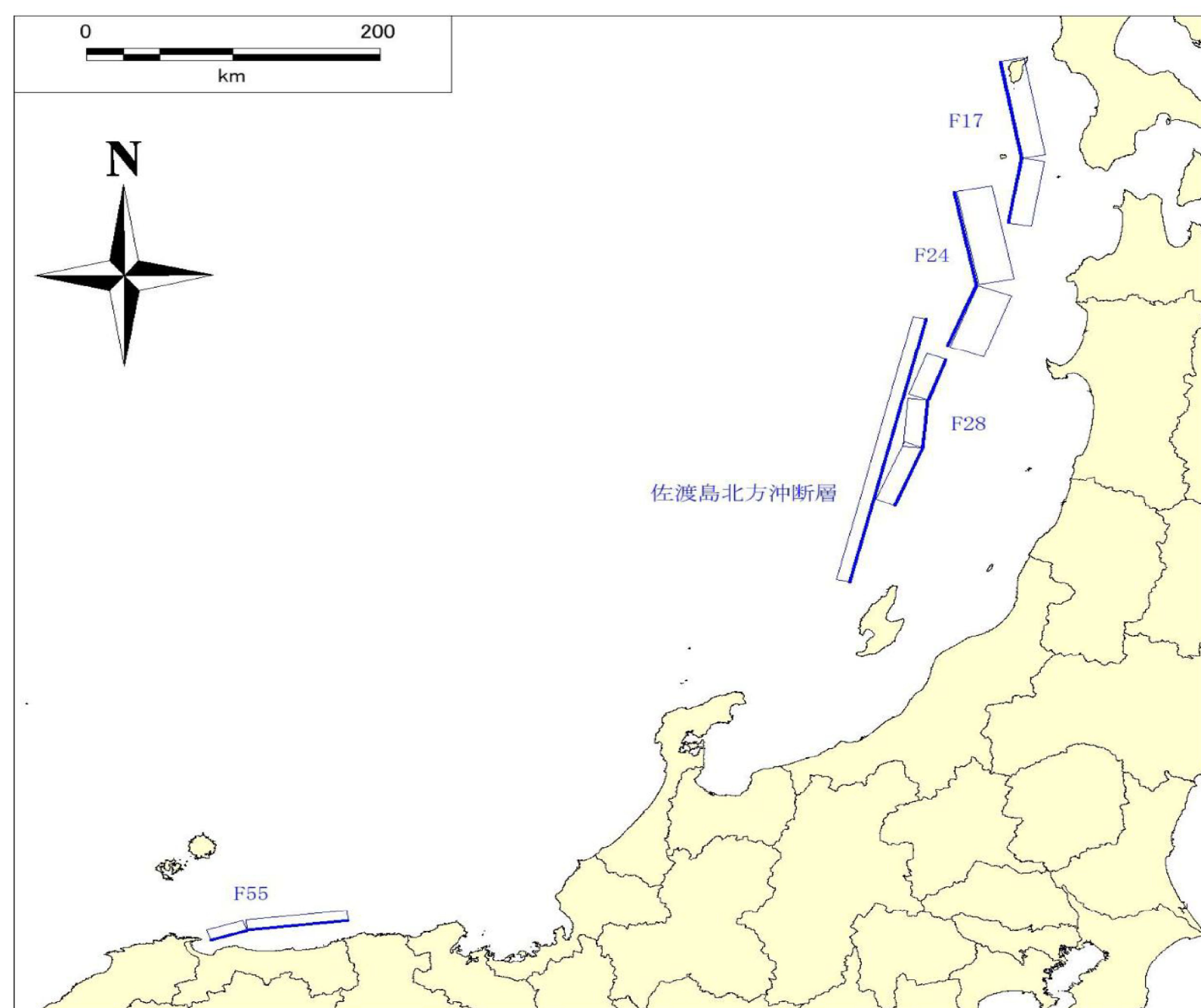


鳥取県に影響のある津波

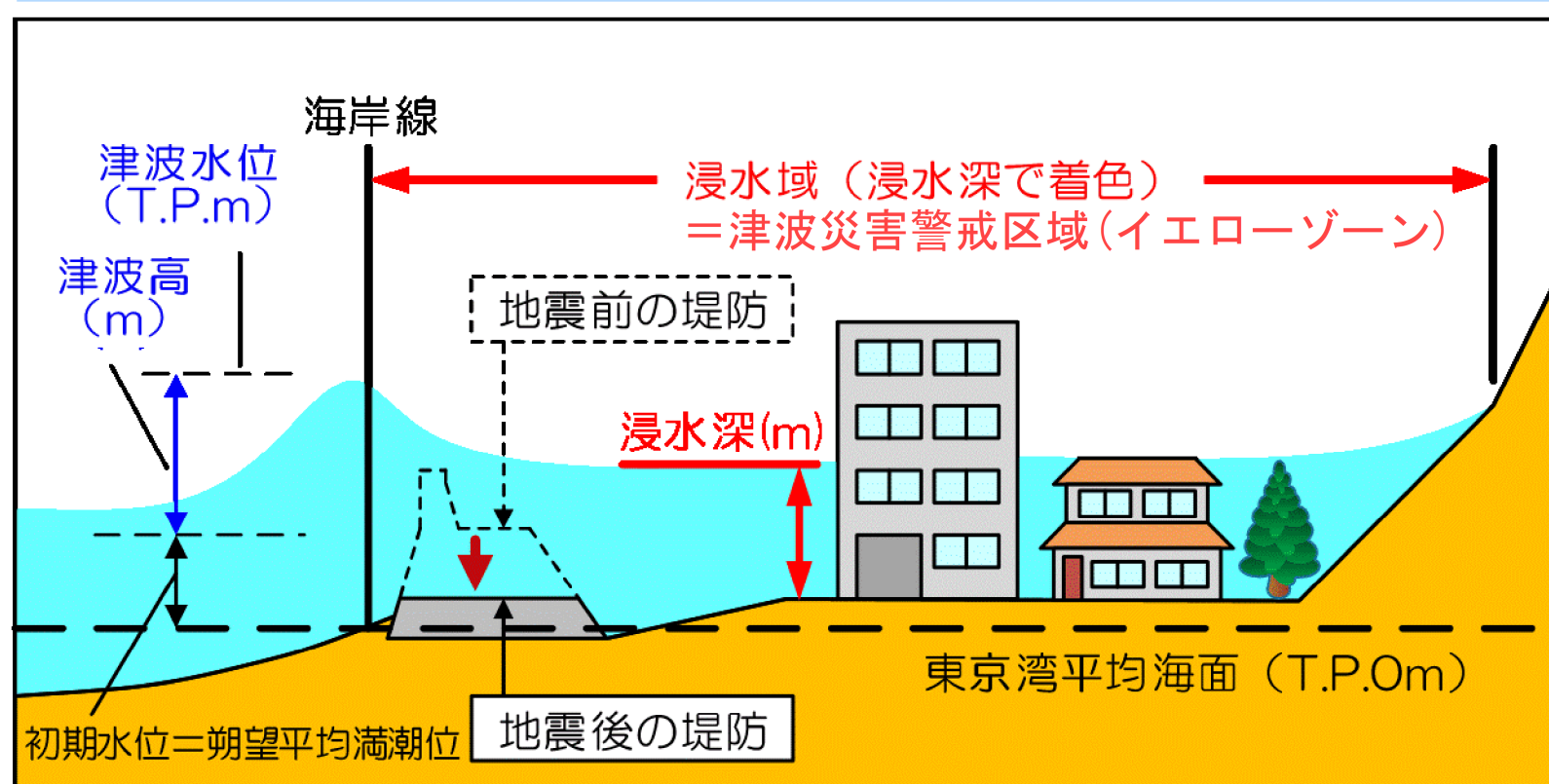
このハザードマップでは、鳥取県の日本海沿岸に最大クラスの津波を引き起こすと想定される断層を、国の「日本海における大規模地震に関する調査検討会」によって公表された60断層のうち、鳥取県日本海沿岸で最大津波高を発生させるF17、F24、F28、F55断層と、平成23年度鳥取県津波対策検討委員会の想定断層である「佐渡北方沖」の計5断層としています。



最大津波高					最大津波高到達時間						
	F17	F24	F28	F55	佐渡 北方		F17	F24	F28	F55	佐渡 北方
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		(分)	(分)	(分)	(分)	(分)
岩美町	1.5	2.4	1.8	4.8	4.9	岩美町	114	112	152	7	85

津波水位の定義

- ① 浸水域について
海岸線から陸域に津波の遡上が想定される区域です。
- ② 浸水深について
陸域の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さです。
- ③ 最大津波高について
各市町村の海岸付近における最大の津波高です。
- ④ 津波水位について
代表地点における東京湾平均海面からの水面の高さです（標高で表示）。



地震の後しばらくは、気象庁が発表する情報に注意!

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

(H25.3/7施行)

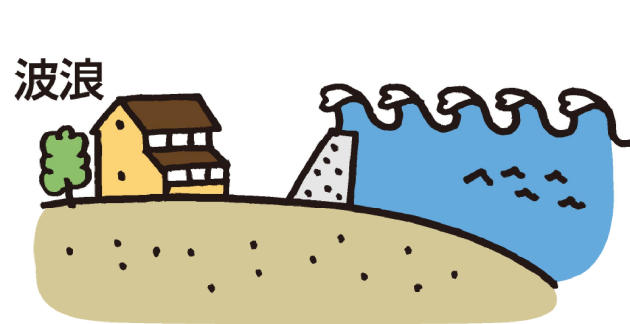
予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)		
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、 ただちに海から上がって、海岸から離れて ください。津波注意報が解除されるまで海に入った り海岸に近付いたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

津波の特徴

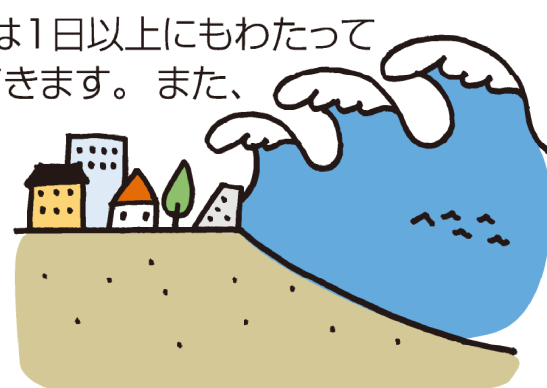
津波は膨大なエネルギーです

普通の波（波浪）と違い、津波は海底から海面までの海水全体が『巨大な水のかたまり』となって押し寄せてきます。
50cmの津波でも立っていられなくなり、1mを超えると家屋に被害が出始めます。



津波は何度でも繰り返し襲ってきます

津波は、長い場合は1日以上にもわたって何度も繰り返し襲ってきます。また、第1波が最大とは限りません。



海辺以外でも注意が必要です

津波は陸地や川を遡上します。
海辺以外の場所でも津波警報・注意報に注意しましょう。



津波避難のポイント 海辺で地震の揺れを感じたら、ただちに避難

海辺で強い揺れや、弱くても長時間ゆっくりとした揺れを感じたときには、すぐに津波が来る可能性があります。津波警報・注意報の発表を待たず、ただちに海辺を離れて安全な高台に避難しましょう。

より安全な場所へ避難!

津波が来るときは、いかに早く安全な場所に避難するかが重要です。避難するのに十分な時間がないときは、無理に遠くへ逃げるのではなく、近くの安全な高台に避難しましょう。



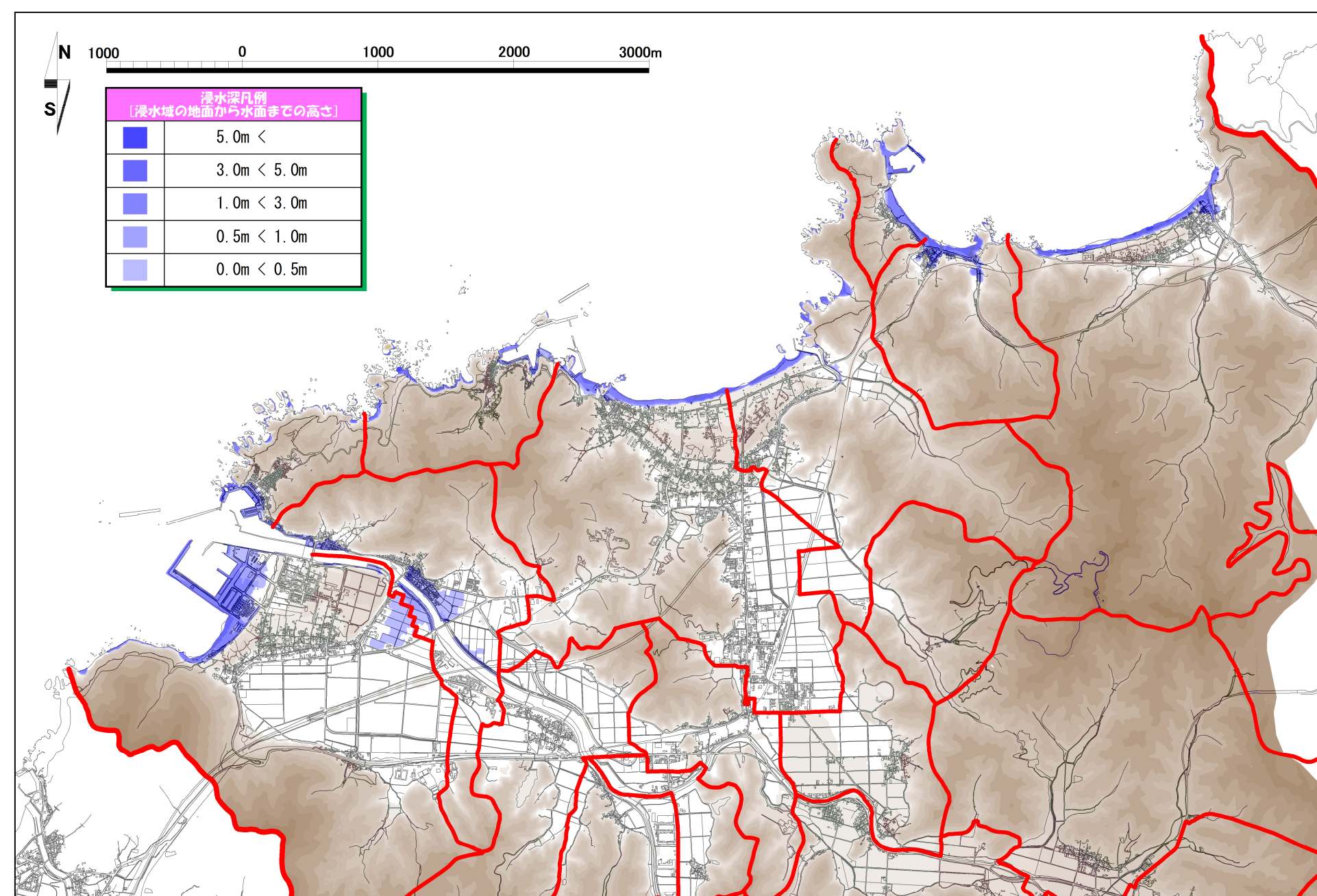
徒歩で避難!

車での避難は、渋滞に巻き込まれ逃げ遅れてしまう恐れがあるので、なるべく徒歩で避難しましょう。



**警報・注意報が出たら
ただちに避難!**

その場で感じた揺れが、それほど大きくなくても(または揺れを感じなくても)津波は発生します。津波警報・注意報が出たら、ただちに避難しましょう。



わが家の防災メモ

わが家の避難先(親類宅・避難所など)

家族が離れ離れになったときの集合場所

[illegible]

その他の連絡先(担当民生委員、地域支援者など)

名 前	電話番号	名 前	電話番号